

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
山梨ではたらく 山梨の食料生産		第3章⑩ P. 82, 83	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	3年生, 5年生





1. 教材のねらいと概要

山梨県の農業や水産業の特色や現状について関心を持ち、調べることができるようにする。
P. 82では、生産量全国1位である、ぶどう・もも・すももについてと販売量全国1位であるワインについて取り上げている。また、P. 83では、最近増えてきた県内への企業による農業参入の動きと豊富な天然水を生かして盛んに行われている淡水魚の養殖について取り上げている。

2. 活用例

教科名等	社会科	単元(題材)名等	活用場面	活用のポイント	時間
			身近な地域の人々の農作物の生産に関する仕事や販売に関する仕事について学習する。	山梨県は、ぶどう・もも・すももなど果物の生産が盛んなことやその生産にあたっては、袋掛け・かさがけやマルチシートを敷くなど、様々な仕事や工夫があることに気付かせる。また、国内はもとより、ワインは海外にも輸出されていることをとらえさせる。	45分
			県内の農業や水産業は、山梨県の自然環境と深いかわりがあることについて学習する。	山梨県は、ぶどう・もも・すももなど果物の生産が盛んなことやその生産にあたっては、袋掛け・かさがけやマルチシートを敷くなど、様々な仕事や工夫があることに気付かせる。また、国内はもとより、ワインは海外にも輸出されていることをとらえさせる。	45分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 82 	山梨県では、どのような産業がさかんなのでしょう。	「山梨ではたらく」の4ページ全体のねらいを示したもの。	山梨県の地形や気候、自然条件、歴史や交通状況をいかした産業が行われていることに気付く。
P. 82 	もも畑の下にしかれているシートは何でしょう。ふくろに入っているぶどうもありますが、なぜでしょう。	果物づくりの工夫について考えさせたい。	物を病気や傷みから防ぐためなど、果物づくりの工夫について考えて説明する。
P. 83 	ビニールハウスとどこがちがうのかしら？	従来のビニールハウスとは異なり、野菜の生産が自動化、オートメーション化されている点に気付かせたい。	本文中の説明や「工場で作られる野菜」というタイトルから、野菜栽培の自動化が進められている。
P. 83 	この魚は、いったいなんという魚なのかしら？ どうして甲斐サーモンと名づけたのかしら？	海のない山梨県では、水産業へのなじみが少ないが、養殖漁業が盛んであることに目を向けさせたい。	山梨県には海がないことから、川魚などの淡水魚であることや「甲斐」と名づけていることから山梨県の特色を生かしていることを連想させたい。

4. 写真・資料の補説

(1) もも・ぶどう・すももの写真

もも畑の下に敷かれているのはマルチと呼ばれるシートで、収穫前のももの色付けをよくするためのもの。ぶどうを入れてある傘や袋は、風雨や病虫害、農業からぶどうを守るためのものである。

(2) レタスがつけられるドーム工場と工場内で行われるレタスづくりの様子

コンピュータ制御の円形水槽で野菜は栽培され、手間をかけずに収穫でき、単位面積当たりの収穫量は従来の2倍である。また、ドームは空気圧で膨らませてあり、柱の影による発育不良を防ぎ、室内環境は24時間コンピュータが制御している。北杜市を中心に、県内各地で企業の農業参入が進んでいる。この工場は、北杜市の日照時間の多さと豊富な自然伏流水、中央道を利用したアクセスの良さなどを環境の良さとして挙げている。

(3) 甲斐サーモンの写真

山梨県は、富士の湧水、山間部の伏流水など、良質な天然水に恵まれており、その環境を生かして淡水魚の養殖が盛んに行われている。山梨県養殖漁業協同組合では、1kg以上の大型ニジマス「甲斐サーモン」と名付けている。身の色は、サーモンピンクの美しい色をしている。

5. 参考文献・関連施設等

関連施設名	住所	電話
株式会社ドームファーム北杜	北杜市百州町百須5681-1	0551-45-7948
参考ホームページ		
<ul style="list-style-type: none"> ・富士の国 山梨の魅力 ・統計で見る山梨 ・山梨県養殖漁業協同組合 		

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
山梨ではたらく 伝統的な仕事と新しく生まれた仕事		第3章 P.84, 85	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	4年生

1. 教材のねらいと概要





山梨県の工業や観光業の特色や現状について関心を持ち、調べることができるようにする。
P.84では、山梨県の伝統的工芸品について取り上げている。また、P.85では、最先端技術を利用した産業や観光業について取り上げている。

2. 活用例

①

教科名等	4年・社会科	単元(題材)名等		活用ポイント	時間
活用場面		活用ポイント			時間
県内の伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域について学習する。		山梨県には、身近な暮らしに根付いた様々な伝統工芸品があることに気付かせるとともに、受け継がれてきた技術や歴史について興味関心を持たせる。			45分
教科名等	4年・社会科	単元(題材)名等		活用ポイント	時間
活用場面		活用ポイント			時間
山梨県で、近年注目されている		山梨県の主要な産業の一つとして、最先端の技術を取り入れた産業や観光業が注目されている			10分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P.84 	伝統的工芸品がさかんに作られているところは、どんな地域なのかな。	掲載されているされている地図から、伝統工芸品の生産が受け継がれている地域の分布に特徴があることに気付かせたい。	甲府盆地や富士川流域、富士北麓周辺に多い。
P.84 	何のマークか調べてみよう。	伝統的工芸品には、国指定のものと県指定のものがあることを理解させたい。	掲載されているマークは、国指定の伝統的工芸品である。
P.83 	太陽光発電所ができた、精密機器の生産がさかんになったのはなぜかな?	山梨県の自然や交通環境、歴史的背景などにふれたい。	日照時間が多い気候条件や中央自動車道などの交通状況、昔からの水晶研磨の技術が生かされている等。
P.83 	どこの国からやってくる人が多いのかしら?	山梨県の観光地を訪れる外国人観光客が増加していることについて気付かせたい。	掲載されている案内板には、英語、中国語、韓国語で表示がされている。
P.85 ……	山梨県でさかんな産業や新しく生まれた産業は、どのような産業なのでしょう。また、それらの産業は、山梨県の特徴とどのような関係があるのでしょうか。	山梨県の産業の様子を県の特徴と関連付けてとらえさせたい。	扇状地の地形や日照時間が多い気象条件、豊富で良質な水などの自然を生かした産業や昔からの技術や原材料を生かした伝統産業が盛んである。
	山梨県の産業マップを作ってみよう。	山梨県の産業の様子を概観させたい。	略

4. 写真・資料の補説

①山梨の伝統的工芸品

県内には、12の伝統的工芸品があり、そのうち甲州印伝、甲州手彫印章、甲州水晶貴石細工三つは国指定の伝統的工芸品、他の九つは県指定の伝統的工芸品である。

②いくつかの国の言葉で書かれている観光案内版

山梨県による「平成22年 外国人観光客実態調査報告書」によると、来県していた外国人観光客の1位中国(30.1%)、2位台湾(25.6%)で半数以上を占めている。続く3位はアメリカ(9.7%)となっている。

5. 参考文献・関連施設等

関連施設名	住所	電話
若草瓦会館	南アルプス市加賀美2605-5	055-283-5870
なかとみ和紙の里	南巨摩郡身延町西嶋345	0556-20-4556
大石紬伝統工芸館	南都留郡富士河口湖町大石1438-1	0556-76-7901
富士河口湖町勝山スズ竹伝統工芸館	南都留郡富士河口湖町勝山4029-5	0555-83-2111
富士大学 やまなし伝統工芸館	笛吹市石和町四日市場1566	055-263-6741
ゆめソーラー館やまなし	甲府市下向山町3443-1	055-269-6685
参考ホームページ		
山梨県の伝統的工芸品		